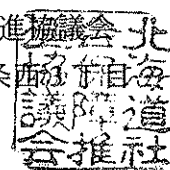


北海道後期高齢者医療広域連合議会議長様

平成20年1月23日

提出者 北海道社会保障推進協議会
住 所 札幌市北区北14条
代表者 黒川 一郎



平成20年度北海道後期高齢者医療広域連合一般会計予算に係る陳情書

1. 陳情要旨

各市町村の事務費負担金における「均等割」を、「10%」ではなく「5%」に軽減してください。

また、財政再建団体として、住民に多大な負担を強いている夕張市の負担金については、特段の配慮を行ってください。

2. 陳情理由

「均等割」が高率に設定されているため、人口最大の札幌市は市民一人あたりの負担金が244,39円にとどまるのに対し、最小の音威子府村は1285,86円と、5.26倍もの開きがあり、小規模自治体に負担が集中するというまったく不合理な設定です。均等割を5%にすることによって解決する問題です。

夕張市は、「最高の負担で最低の住民サービス」といわれ、市民も市も大変な困難を抱えています。

特に市民が大変な負担を強いられている中で、後期高齢者医療制度がさらに新たな負担を市財政へ押しつけることは許されません。

以 上

